

HIKVISION



DS-2TD1217B-6PA

クイックスタートガイド

Ver 1.00

ELMO K-grande Corporation

クイックスタートガイド

著作権©2019 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd.

全著作権所有。

文言、写真、グラフを含むすべての情報は、杭州Hikvision Digital Technology Co., Ltd.またはその子会社の所有物です。(以下「ハイビジョン」と呼ぶ)

このユーザーマニュアル(以下、「マニュアル」といいます)は、Hikvisionの書面による事前の許可なしに、部分的または全体的に、複製、変更、翻訳、または配布することはできません。特に明記されていない限り、Hikvisionは、マニュアルに関して、明示または黙示を問わず、いかなる保証、保証、または表明も行いません。

このマニュアルについて

このマニュアルは、DS-2TD1217B-6PAに適用されます。

マニュアルには、製品の使用方法と管理方法が記載されています。画像、図表、画像、およびその他以下すべての情報は、説明のみを目的としています。マニュアルに記載されている情報は、ファームウェアのアップデートやその他の理由により、予告なく変更されることがあります。会社のウェブサイトで最新バージョンを見つけてください (<http://overseas.hikvision.com/en/>)

専門家の指導のもと、本ユーザーマニュアルをご利用ください。

商標の確認

HIKVISION その他のHikvisionの商標とロゴはHikvisionの所有物です。さまざまな管轄区域で。下記のその他の商標およびロゴは、それぞれの所有者の所有物です。

法的放棄声明

適用される法律で許容される最大限の範囲で、ハードウェア、ソフトウェア、およびファームウェアとともに記述されている製品は、「現状のまま」で提供され、すべての障害およびエラーがあり、Hikvisionは、明示的または黙示的を問わず、一切の保証を含みません。満足のいく品質、特定の目的への適合性、および第三者の非侵害性。いかなる場合も、HIKVISION、その取締役、役員、従業員、または代理人は、ビジネス上の利益またはビジネスデータの損失、ビジネスデータの損失を含む、その他の損害を含む、特別、結果的、偶発的、または間接的な損害について一切責任を負いません。HIKVISIONがそのような損害の可能性について知らされていたとしても、この製品の使用に関連して、または文書報告について一切責任を負いません。

インターネットアクセスが可能な製品に関しては、製品の使用は完全にユーザー自身の責任で行うものとします。HIKVISIONは一切の責任を負わないものとします。

サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス検査、またはその他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常な動作、プライバシー漏洩、またはその他の損害についても、いかなる責任も負わないものとします。ただし、必要に応じて、HIKVISIONは必要に応じて技術サポートを提供します。

サーベイランス法は管轄によって異なります。この製品を使用する前に、管轄地域の関連する法律をすべて確認して、お客様の使用が該当する法律に準拠していることを確認してください。HIKVISIONは、この製品が違法な目的で使用された場合の責任を負わないものとします。

このマニュアルと適用される法律との間に矛盾がある場合は、後で優先されます。

規制情報

FCC情報

FCCコンプライアンス： この装置はテスト済みであり、FCC規則のパート15に基づくクラスAデジタルカメラの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、機器が商業環境で操作されたときに有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。この機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

住宅地でこの機器を操作すると、有害な干渉を引き起こす可能性があります。その場合、ユーザーは自己負担で干渉を修正する必要があります。

FCC条件

このカメラはFCC規則のパート15に準拠しています。操作は次の2つの条件の対象となります。

1. このカメラは有害な干渉を引き起こしません。
2. このカメラは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れる必要があります

EU適合宣言



この製品と-該当する場合-付属のアクセサリにも「CE」のマークが付いているため、EMC指令 2014/30 / EU、RoHS指令にリストされている該当する調和のとれたヨーロッパ規格に準拠しています。

2011/65 /
EU。



2012/19 / EU (WEEE指令)：この記号が付いている製品は、欧州連合では分別されていない一般廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、同等の新しい機器を購入したら、この製品を最寄りのサプライヤーに返却するか、指定された収集場所に廃棄してください。詳細については、：www.recyclethis.info。



2006/66 / EC (バッテリー指令)：この製品には、EUで分別されていない一般廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特定のバッテリー情報については、製品ドキュメントを参照してください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、または水銀 (Hg) を示す文字が含まれている場合があります。適切にリサイクルするには、バッテリーをサプライヤーまたは指定された集荷所まで。詳細については、以下を参照してください。www.recyclethis.info。
カナダ産業省ICES-003コンプライアンス

このカメラは、CAN ICES-3 (A) / NMB-3 (A) 規格の要件を満たしています。



安全指導

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用して、危険や財産の損失を回避できるようにすることを目的としています。

予防策は警告と注意に分けられます：

警告： 警告を無視すると、重傷または死亡につながる可能性があります。

注意： 注意を怠ると、けがや装置破損の原因になります。

	
警告 深刻な怪我や死亡を防ぐために、これらの安全対策に従ってください。	注意 怪我や物的損害の可能性を防ぐために、注意事項に従ってください。

**警告**

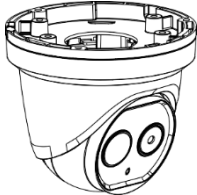
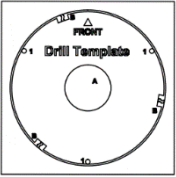
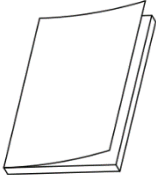
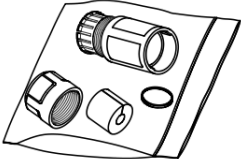
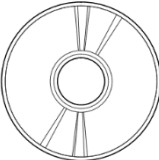
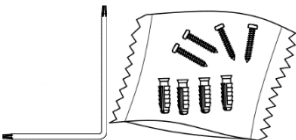
- 本製品は、現地の法律および電気安全規制を遵守して使用してください。詳細情報については、適切な文書を参照してください。
- 入力電圧は IEC60950-1 規格に準拠してください。SELV (Safety Extra Low Voltage) および制限電源 (DC12V) に準拠している必要があります。詳細情報については、適切な説明書を参照してください。
- 過負荷による過熱や火災の危険を避けるため、1 つの電源アダプタに複数のカメラを接続しないでください。
- プラグが電源ソケットに正しく接続されていることを確認してください。
- 発煙、異臭、異音が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。
- パスワードとセキュリティの設定とその設定は、インストーラーとユーザーが責任を持って行います。
- 内部グランド、外部グランドともに正しく接続してください。接地線の断面積は 4mm² 以上、位相コネクタの断面積以下としてください。

**ご注意**

- カメラを落としたり、物理的な衝撃を与えたりしないでください。
- 必要に応じて、カメラを清潔な布と少量のエタノールで軽く拭きます。
- レンズを太陽やその他の明るい光に向けしないでください。
- レーザー機器を使用しているときは、カメラのレンズがレーザー光線にさらされていないことを確認してください。
- カメラを極端に高温、低温（動作温度は-40°C～65°C）、ほこりの多い場所、湿った場所に置かないでください。また、高電磁波に曝さないでください。
- カメラを乾燥した換気の良い環境に置きます。
- 非防水装置を液体に近づけないでください。
- 輸送中は、カメラを元のパッケージまたは同様のパッケージに保管してください。
- 一部のカメラコンポーネント（電解コンデンサなど）では、定期的な交換が必要です。平均寿命は変動するため、定期的なチェックをお勧めします。詳細は販売店にお問い合わせください。
- バッテリーの不適切な使用または交換は、爆発の危険をもたらす可能性があります。同じまたは同等のタイプのみと交換してください。使用済みの電池は、電池メーカーの指示に従って廃棄してください。
- カメラを分解しないでください。

パッケージ内容

全てのものがそろっているか確認してください。

		
<p>カメラ本体</p>	<p>ガイドシール</p>	<p>Manual x 2</p>
		
<p>ケーブルグラント 1セット</p>	<p>CD-ROM</p>	<p>ネジ x 4 、トルクスL型レンチ アンカー x 4</p>

注意事項

- 本製品は医療器具ではありません。
- サーマルカメラとして使用する場合、体温測定前の一次スクリーニング用にご使用ください。

目次

1 準備1	1
2 外観の説明	2
2.1 タイプIカメラの外観	2
2.2 タイプIIカメラの外観	2
2.3 ケーブルの説明	3
2.4 アラーム入力/出力接続	3
3 本製品を取り付ける	4
3.1 モニター距離範囲	4
3.2 メモリーカードを取り付ける	5
3.3 本製品の設置	5
3.4 ネットワークケーブル防水ジャケットの取り付け	8
3.4.1 ネットワークケーブル防水（ケーブルグラント）ジャケットの取り付け8	8
3.4.2 その他のケーブル	9
4 LAN経由でシステムを設定する	10
4.1 配線	10
4.2 システムの起動	10
4.2.1 Webブラウザ経由によるアクティブ化	11
4.2.2 SADPToolソフトウェアによるアクティブ化	11
4.3 IPアドレスを変更する	12
5 WEBブラウザ経由での操作	14
5.1 設定画面にアクセスする	14
5.2 ライブビューページ	15
6 付録	17
6.1 一般的な材料の放射率 参照	17
6.2 よくある質問（FAQ）	18
6.2.1 実行中のデバイス エラー	18
6.2.2 カメラのアップグレード	18
6.2.3 その他	18

1 準備

基本要件

- すべての電子操作は、地域の電気安全規制、防火規制、およびその他の関連規制に厳密に準拠している必要があります。
- パッケージの内容を確認し、パッケージ内のカメラが良好な状態であり、すべてのアセンブリ部品が含まれていることを確認します。
- 使用する 作業環境要件に応じてシステム。

設置環境の確認

- 本製品とアクセサリを設置するのに十分なスペースがあることを確認してください。
- 壁が、本体とマウントの重量の8倍以上に耐えるだけの強度があることを確認してください。

ケーブルを準備する

- 実際のネットワーク帯域幅に応じて、Cat5（100M）またはCat6（上記の100M）が必要です。
- 本製品が標準のDC12V電源を使用する場合、電源ケーブルは米国のワイヤーゲージ18以上でなければなりません。裸線の断面積 S （ mm^2 ）と最大伝送距離 L （ m ）の式は $L = 50 * S$ です。
- 伝送距離に応じてビデオケーブルをお選びください。ビデオは次のように最小要件を満たす必要があります。75Ωの抵抗；100%銅芯導線；95%織りの銅シールド。

ツールを準備する

取り付ける前に、拡張ネジ、電動ハンマー、電動ドリル、レンチ、ドライバー、電気プローブ、ネットワークケーブルなどの必要な工具を準備してください。

元のパッケージ

本製品を開梱するときは、元のパッケージを適切に保管してください。本製品を返品または修理する場合は、本製品をパッケージと一緒に梱包できます。

注意：元のパッケージを使用せずに輸送した場合に発生する損傷については、ユーザーが責任を負う必要があります。

2 外観の説明

本製品には2つのタイプがあります。タイプIカメラとタイプIIカメラの概要は次のとおりです。

2.1 タイプIカメラの外観

タイプIサーマル本製品の概要については、次の図を参照してください。

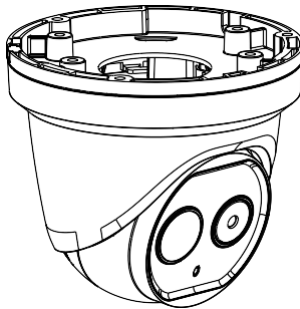


図2-1タイプIサーマル本製品の概要

2.2 タイプIIカメラの外観

タイプIIサーマル本製品の概要については、次の図を参照してください。

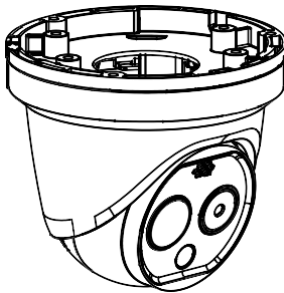


図2-2 タイプIIサーマル本製品の概要

2.3 ケーブルの説明

本製品のケーブルインターフェースを次の図に示します。のケーブルRS-485、電源、アラーム入力、アラーム出力などは色分けされています。識別のためにケーブルに添付されているラベルを参照してください。

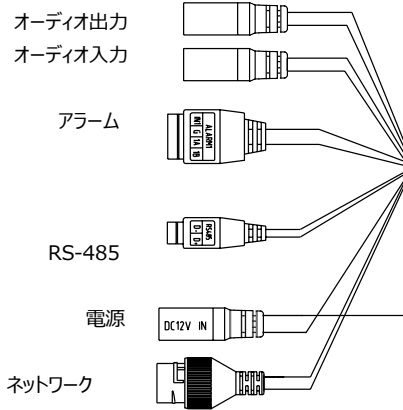


図2-3サマル本製品のケーブル

2.4 アラーム入力/出力接続

このセクションは、アラームイン/アウト機能を備えた製品専用です。

本製品は、アラーム入力（DC0～5V）とアラーム出力に接続できます。アラーム出力については、次の図を参照してください。

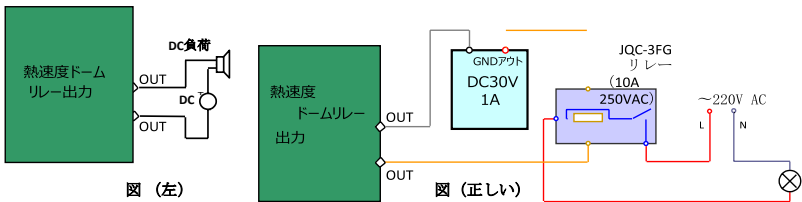


図2-4アラーム出力接続

アラームはリレー出力（電圧なし）を提供し、アラームカメラに接続する場合は外部電源が必要です。

- DC電源（左図）の場合、入力電圧はDC30V、1A以下でなければなりません。
- AC電源の場合、本製品の損傷を防ぎ、感電の危険を回避するために、外部リレーを使用する必要があります（右図）。

3 本製品を取り付ける

始める前に：

1. パッケージの内容を確認し、パッケージ内のカメラが良好な状態であり、すべてのパーツが含まれていることを確認します。（vi ページ参照）
2. ケーブルを接続する前に本製品の電源を切ってください。

ノート：

- 本製品を防水ケーブルで引っ張らないでください。防水性能が低下します。
- 取り付け後、タレットの保護フィルムをはがしてください。
- 下タレットの気泡に直接触れないでください。そうでなければ画像がぼやけます。

3.1 モニター距離範囲

本製品のサーマルチャンネルに電動レンズを採用。オートフォーカス機能、リモートフォーカス機能に対応しています。レンズの焦点距離が異なる場合の監視範囲を下の表に示します。

表3-1モニター範囲（ピクセル間隔：17um）

レンズ焦点距離/ mm	1.8	3.1	6.2
MRAD	9.44	5.48	2.83
検出範囲（車両）/ m	162	280	559
検出範囲（人）/ m	53	91	182
認識範囲（車両）/ m	41	70	140
認識範囲（人間）/ m	13	23	46
識別範囲（車両）/ m	20	35	70
識別範囲（人間）/ m	7	11	23

ノート：

- この表は参照用であり、実際の検出範囲はカメラの設定、取り付け状態、モニターなどによって異なる場合があります。
- 天気が良く、大気の可視性が正常な場合、ターゲットを検出/認識/識別する確率は50%です。
- 人の幅は0.5m（人の幅は0.75mを超えることはできません）、人の高さは1.8m、車の幅は2.3mを超えると想定されています。

3.2 メモリーカードを取り付ける

2つのカメラモデルのマイクロSDカードも同じ方法で取り付けられます。タイプIIカメラのSDカードの取り付け例を以下に示します。

手順：

1. 本製品の背面にあるカバーを取り外します。

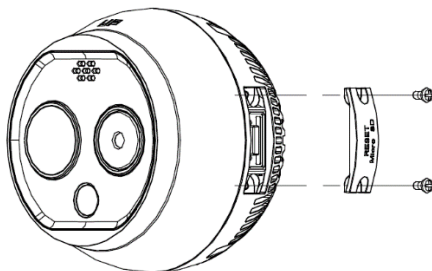


図3-1カバーの取り外し

2. SDカードをSDカードスロットに挿入し、カバーを元に戻します。

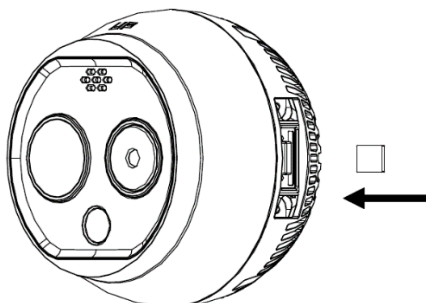


図3-2 SDカードスロット

3.3 本製品の設置

2種類のカメラを同じように取り付けます。タイプIIカメラの設置例です。

手順：

1. 付属のドリルテンプレートに従って、壁または天井に穴を開けます



図3-3ドリルテンプレート（ガイドシール）

2. 順番 リングを反時計回りに取り外します。

注意：リングはタイプIIカメラにのみ適用されます。

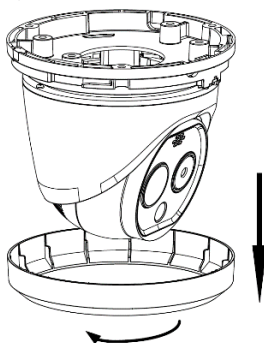


図3-4リングの取り外し

3. ネジを緩め、カメラ本体をベースから取り外します。

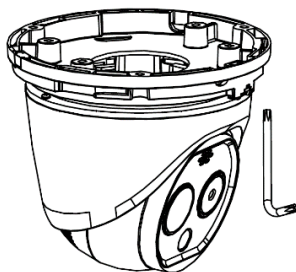


図3-5ベースからのカメラの取り外し

4. ドリルテンプレートの位置に合わせてカメラベースを取り付けます。

ドリルテンプレート

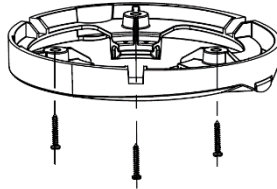


図3-6カメラベースの取り付け

5. カメラ本体をベースに取り付けます。カメラ本体をパン方向（ $0^{\circ}\sim 360^{\circ}$ ）に回転させるか、レンズをチルト方向（ $0^{\circ}\sim 80^{\circ}$ ）に回転させて、目的のビュー角度を取得します。

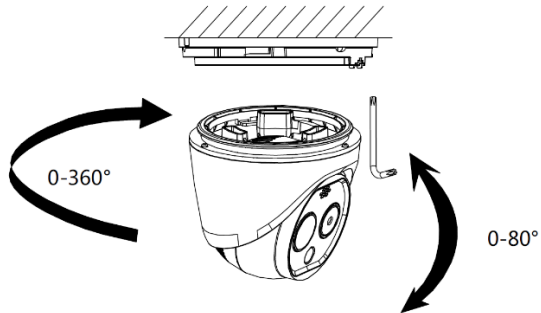


図3-7カメラ本体の取り付け

6. ネジを締めてカメラ本体をカメラベースに固定します。

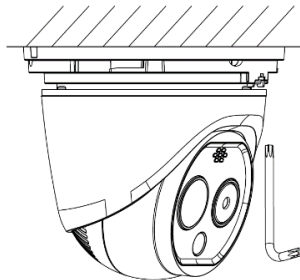


図3-8カメラのネジ留め

7. リングをカメラ本体に取り付け、時計回りに回してリングを固定します。

注意： リングはタイプIIカメラにのみ適用されます。

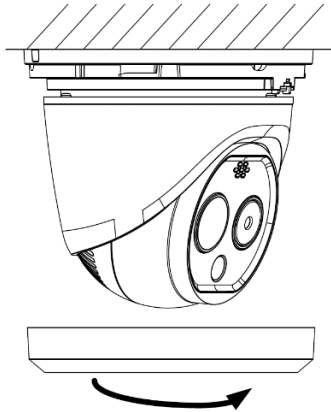


図3-9 リングをマウント

3.4 ネットワークケーブル防水ジャケットの取り付け

目的：

カメラが屋外に設置されている場合は、防水アクセサリまたはテープを使用してケーブルを防水する必要があります。使用しない場合、ケーブルが濡れたり、ショートする可能性があります。

3.4.1 ネットワークケーブル防水ジャケット（ケーブルグラント）の取り付け

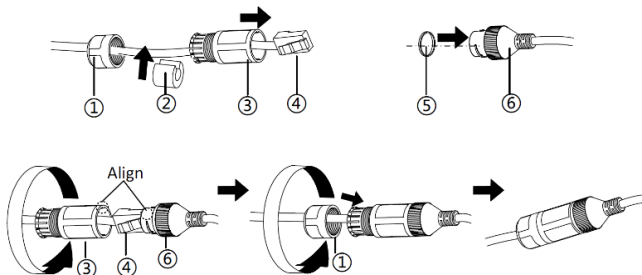


図3-10 防水ジャケットの取り付け

手順：

1. ネットワークケーブルを①と③の順に通します。
2. ①と③の間のネットワークケーブルに②を固定します。
3. ⑤を⑥の端に配置し、RJ45オスコネクタをRJ45メスコネクタに差し込みます。
4. ③を時計回りに⑥までねじ込みます。
5. ②を③に押し込みます。
6. ①を③で時計回りに固定します。

1.1.1 その他のケーブル

ケーブルを配線して接続したら、防水テープを使用してケーブルをまとめます。接続ケーブルと予備ケーブルは下図のようにまとめてください。

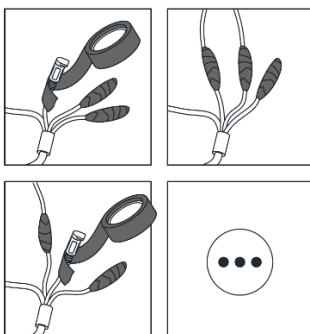


図3-11 防水ケーブル

4 LAN経由でシステムを設定する

ノート:

- インターネットにアクセスできる製品の使用は、ネットワークセキュリティ上のリスクがある可能性があることを認めるものとします。ネットワーク攻撃や情報漏えいを防ぐため、ご自身の保護を強化してください。製品が正常に動作しない場合は、販売店にお問い合わせください。
- 本製品のネットワークセキュリティを確保するために、システムを定期的に点検および保守することをお勧めします。このようなサービスが必要な場合は、販売店にお問い合わせください。

4.1 配線

LAN（ローカルエリアネットワーク）経由でシステムを表示および構成するには、ネットワークシステムをPCと同じサブネットに接続する必要があります。次に、SADPToolまたはクライアントソフトウェア(iVMS-4200)をインストールして、ネットワークシステムのIPを検索および変更します。

次の図は、ネットワークシステムのケーブル接続を示しています。

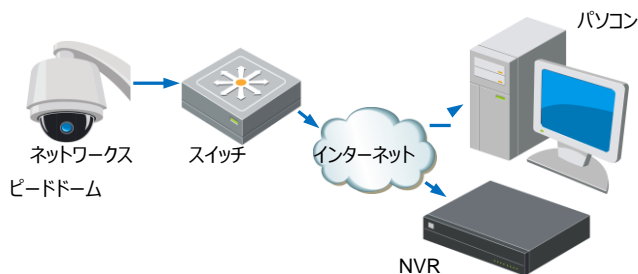


図4-1 LAN経由の配線

4.2 システムの起動

目的: システムを使用する前に、強力なパスワードを設定してシステムの起動必要があります。

Webブラウザによるアクティベーション、SADPによるアクティベーション、およびクライアントソフトウェアによるアクティベーションがサポートされています。次のセクションでは、WebブラウザとSADPを使用したアクティベーションを例として取り上げます。クライアントソフトウェアによるアクティベーションの詳細については、システムのユーザーマニュアルを参照してください。

4.2.1 Webブラウザ経由によるアクティブ化

手順：

1. システムの電源を入れ、システムをネットワークに接続します。
2. WebブラウザのアドレスバーにIPアドレスを入力し、Enterをクリックしてアクティベーションインターフェイスに入ります。

注意： システムのデフォルトのIPアドレスは192.168.1.64です。

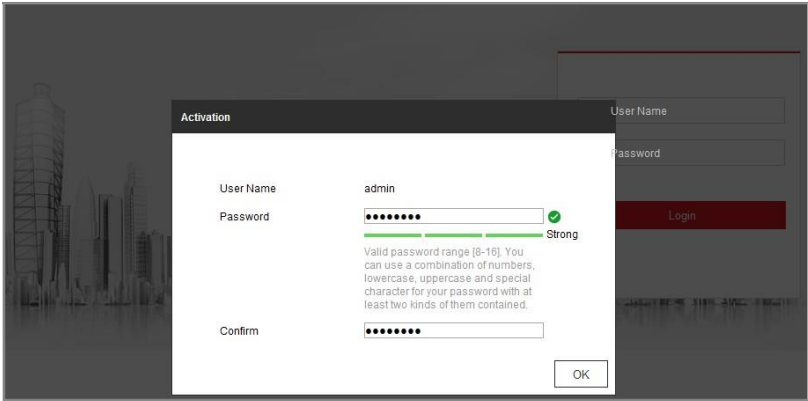


図4-2アクティベーションインターフェイス（Web）

3. パスワードを作成し、パスワードをパスワードフィールドに入力します。



強力なパスワードを推奨 - 製品のセキュリティを高めるために、独自の強力なパスワード（大文字、小文字、数字、特殊文字を含む8文字以上）を作成することを強くお勧めします。また、パスワードを定期的に変更することをお勧めします。特に高セキュリティシステムでは、パスワードを毎月または毎週リセットすると、製品をより安全に保護できます。。セキュリティ上、パスワードの管理はご自身で行います。

4. パスワードを確認してください。
5. [OK]をクリックしてシステムをアクティブにし、ライブビューインターフェイスに入ります。

4.2.2 SADPToolソフトウェアによるアクティブ化

SADPToolは、オンラインカメラの検出、カメラのアクティブ化、およびパスワードのリセットに使用されます。付属のディスクまたは公式WebサイトからSADPToolを入手し、プロンプトに従ってSADPToolをインストールします。手順に従ってシステムをアクティブにします。

手順：

1. SADPToolを実行して、オンラインカメラを検索します。
2. カメラリストからカメラのステータスを確認し、非アクティブなカメラを選択します。

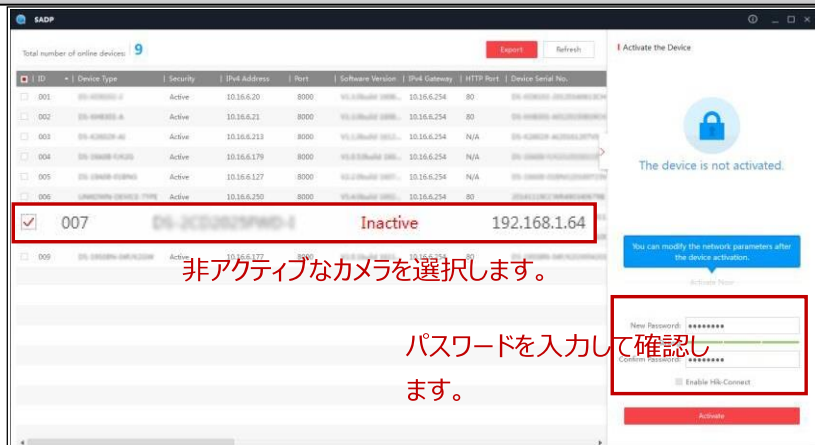


図4-3 SADPインターフェイス

3. パスワードを作成し、パスワードフィールドにパスワードを入力して、パスワードを確認します。



強力なパスワードを推奨 – 製品のセキュリティを高めるために、独自の強力なパスワード（大文字、小文字、数字、特殊文字を含む8文字以上）を作成することを強くお勧めします。また、パスワードを定期的に変更することをお勧めします。特に高セキュリティシステムでは、パスワードを毎月または毎週リセットすると、製品をより安全に保護できます。セキュリティ上、パスワードの管理はご自身で行います。

4. [OK]をクリックしてパスワードを保存します。

ポップアップウィンドウでアクティベーションが完了したかどうかを確認できます。アクティブ化に失敗した場合は、パスワードが要件を満たしていることを確認してから、再試行してください。

4.3 IPアドレスを変更する

目的：

LAN（ローカルエリアネットワーク）経由でシステムを閲覧・設定するには、ネットワークシステムをPCと同じサブネットに接続する必要があります。次に、SADPToolまたはクライアントソフトウェアをインストールして、ネットワークシステムのIPを検索および変更します。ここでは、SADPToolによるIPアドレスの変更を例に、IPアドレスの変更方法を紹介します。

手順：

1. SADPToolを実行します。
2. クリックしてアクティブなカメラを選択します。

注意： システムが非アクティブの場合は、セクション3.2を参照してシステムをアクティブにしてください。

3. カメラのIPアドレスをコンピュータと同じサブネットに変更するには、IPアドレスを手動で変更するか、DHCPを有効にするのチェックボックスをオンにします。

Modify Network Parameters

Enable DHCP
 Enable Hik-Connect

Device Serial No.:

IP Address:

Port:

Subnet Mask:

Gateway:

IPv6 Address:

IPv6 Gateway:

IPv6 Prefix Length:

HTTP Port:

----- Security Verification -----

Admin Password:

[Modify](#)

[Forgot Password](#)

図4-4 IPアドレスの変更

4. パスワードを入力して[保存]をクリックすると、IPアドレスの変更が有効になります。

5 Webブラウザ経由での操作

5.1 設定画面にアクセスする

システム要件：

オペレーティングシステム：Microsoft Windows XP SP1以上のバージョン/ Vista / Win7 / Server 2003 / Server 2008 32ビット

CPU：Intel Pentium IV 3.0 GHz以上RAM：
1G以上

ディスプレイ：1024×768以上の解像度

Webブラウザ：Internet Explorer 7.0以上のバージョン、Apple Safari 5.02以上のバージョン、Mozilla Firefox 5以上のバージョン、Google Chrome8以上のバージョン

手順：

1. Webブラウザを開きます。
2. ブラウザのアドレスバーに、ネットワーク本製品のIPアドレス（例：192.168.1.64）を入力し、Enterキーを押してログインインターフェイスに入ります。
3. 本製品を初めて使用する場合は、**セクション4.2システムの起動**を参照してください。
4. 言語を日本語に変更する場合、右上にある言語プルダウンメニューから**日本語**を選択し、ユーザー名とパスワードを入力して**ログイン**をクリックします。

管理者ユーザーは、カメラアカウントとユーザー/オペレーター権限を適切に設定する必要があります。不要なアカウントとユーザー/オペレーター権限を削除します。

注意：管理ユーザーがパスワードの入力に7回失敗すると（ユーザー/オペレーターは5回試行）、カメラのIPアドレスがロックされます。



図5-1ログインインターフェイス

5. ライブビデオを表示してネットワーク本製品を管理する前に、プラグインをインストールしてください。インストールプロンプトに従ってプラグインをインストールしてください。

注意：

プラグインのインストールを完了するには、Webブラウザを閉じる必要があります。

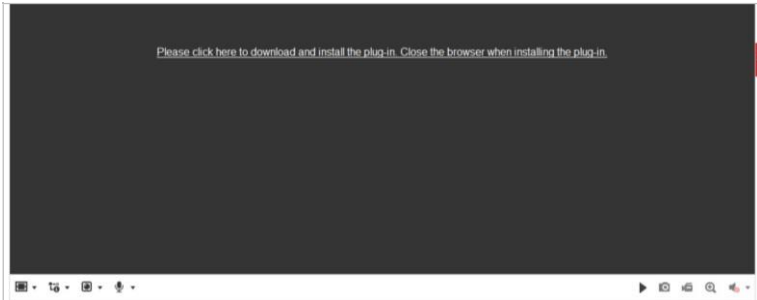


図5-2プラグインのダウンロード

6. プラグインのインストール後にWebブラウザを再度開き、上記の手順2～4を繰り返してログインします。

注意：

詳細設定の詳細な手順については、本製品のユーザーマニュアルを参照してください。

5.2 ライブビューページ

ライブビューページでは、ライブビューの表示、画像、PTZコントロール、プリセットの設定/呼び出し、ビデオパラメータの設定を行うことができます。

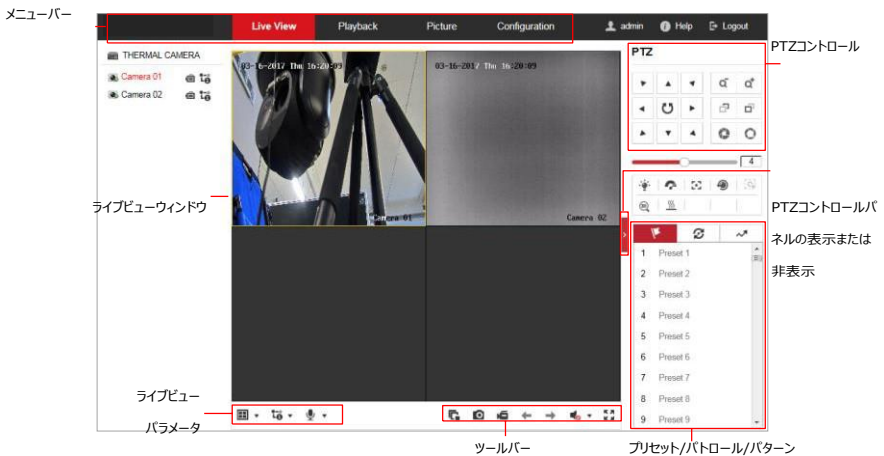




図5-3ライブビューページ

メニューバー：

各タブをクリックして、ライブビュー、再生、画像、および環境設定ページをそれぞれ開きます。

 をクリックするとタブレットのヘルプファイルを表示する カメラ。  をクリックしてログアウトします。

ライブビューウィンドウ：

ライブビデオを表示します。

ツールバー：

ライブビューページでの操作。ライブビュー、キャプチャ、録音、オーディオのオン/オフ、地域の露出、地域のフォーカスなど。

PTZコントロール：

本製品のパン、チルト、フォーカス、ズームアクション。ライター、ワイパー、ワンタッチフォーカス、レンズ初期化コントロール。

プリセット/パトロール/パターン：

本製品のプリセット/パトロール/パターンを設定して呼び出します。

6 付録

6.1 一般的な放射率 参照

素材	放射率
人間の皮膚	0.98
PCB	0.91
セメントコンクリート	0.95
セラミックス	0.92
ゴム	0.95
ペイント	0.93
木材	0.85
アスファルト	0.96
れんが	0.95
砂	0.90
土	0.92
コットン	0.98
段ボール	0.90
白書	0.90
水	0.96

6.2 よくある質問（FAQ）

6.2.1 実行中のデバイスエラー

質問：

- カメラが起動しないか、繰り返し再起動します。
- カメラをパン/チルトしたり、プリセットを呼び出したりすると、カメラは常に予期せず電源がオフになります。
- カメラはズームイン/ズームアウトまたはパン/チルトに失敗します。

回答：

- 本製品の電源を調べて、要件を満たしているか確認します。
- 可能な限り電源を選択してください。
- 電源コードを調べて、要件を満たしているか確認します。

6.2.2 カメラのアップグレード

質問：

カメラはアップグレードに失敗します。

回答：

- ネットワークの状態を確認します。
- アップグレードプログラムが本製品とカメラタイプと一致するかどうかを確認します。

6.2.3 その他

質問：

カメラのライブビューの映像がはっきりしない。

回答：

- 保護フィルムをはがしているか確認します。
- レンズが汚れていないか確認してください。
- クモの巣など、障害物が近くにないか調べます。

質問：

ネットワークに接続しているカメラのライブビューが表示されない。

ネットワーク接続が良好な場合にも拘わらず、ライブビューが表示されません。

回答：

- IEプラグインが適切にインストールされているかどうかを確認します。必要に応じて、Webサイトブロックの設定を変更します。
- クロスドメインルーティングを行う場合は、デバイスのUPnPを有効にするか、ポート番号80、8000、554に手動マッピングを設定してください。
- ライブビューのチャンネル数が上限を超えていないか確認してください。
- ネットワーク帯域幅を確認してください。

製品保証書

型名 **DS-2TD1217B-6PA**

シリアルNo. _____

設置年月日 20 ____ 年 ____ 月 ____ 日

本書は上記製品に万一故障が発生した場合に、下記記載内容により無償修理を保証するものです。

(無料修理規定)

- 1) 無料保証期間は、お買い上げ時より2年間となります。
 - 2) 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について当社はその責任を、負わないものとします。
 - 3) 取扱説明書、その他説明書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理を致します。
 - (1) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店へお問い合わせ下さい。
 - (2) 保証期間内でも次の場合には原則として有料となります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、誘導雷、その他天災地変、及び公害、塩害、電圧異常指定外の使用電源などによる故障および損傷。
 - (ニ) 車両、船舶に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
 - (ホ) コンピューターウイルスによって生じた故障、および損傷。
 - (ヘ) 本製品に接続している当社指定以外の機器、消耗品に起因する故障および損傷。
 - (ト) 本書のご提示がない場合。
 - (チ) 本書に設置年月日、販売店の記入のない場合。
 - 4) 記憶装置（ハードディスク・DV・SDカード等）に記憶されたデータは故障や障害の原因にかかわらず保証致しかねます。
 - 5) 本書は日本国内においてのみ有効です。
- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせ下さい。

ELMO K-grande Corporation



ELMO K-grande Corporation

発売元 株式会社 エルモケイグランデ